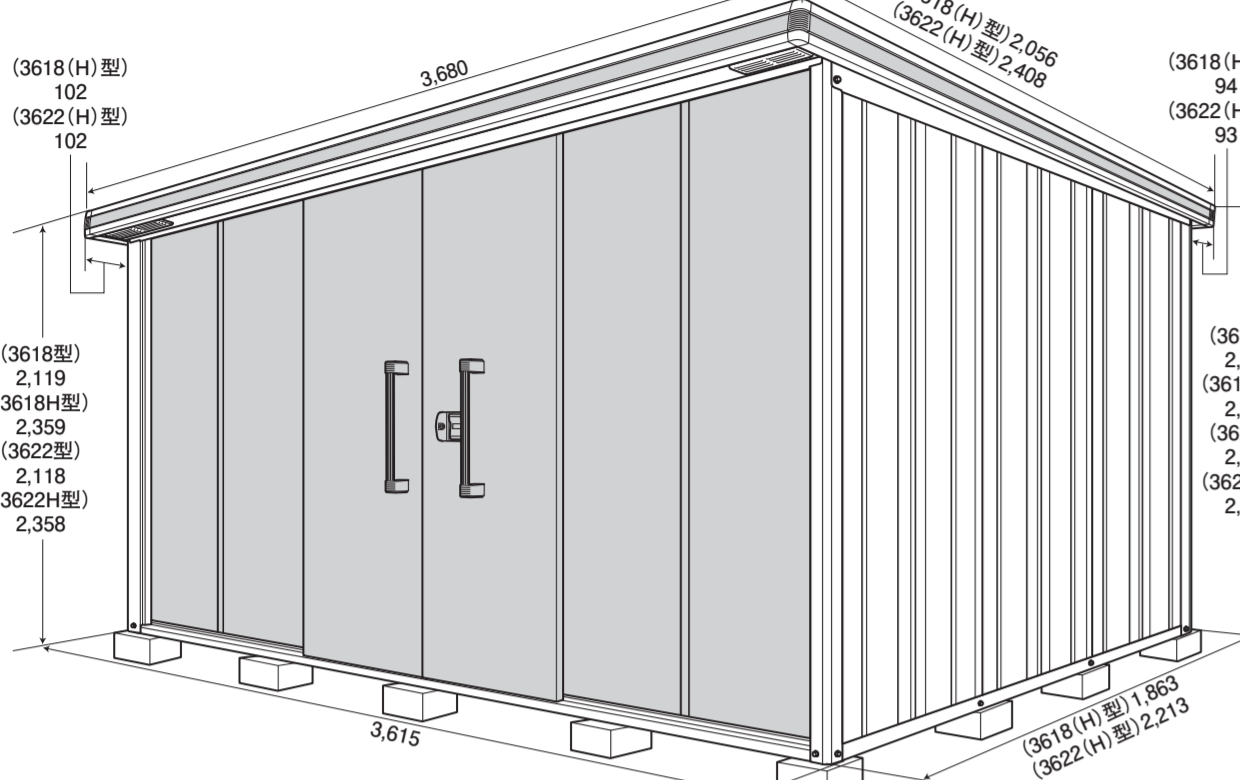


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-3618型・3618H型・3622型・3622H型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「3622」の組立手順を基本に説明しています。



- ### ●設置場所の制限
- △注意**
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。

- ### ●組立施工の際には
- △注意**
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・踏み等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

| 機種 | 3618型 | 3622型 | 3618H型 | 3622H型 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 部材 | LMS-0173 | LMS-0173 | LMS-0173 | LMS-0173 |
| 上枠前後 | LMS-0208 | LMS-0208 | LMS-0208 | LMS-0208 |
| 下枠前後 | LMS-0258 | LMS-0258 | LMS-0258 | LMS-0258 |
| 上枠左右 | LMS-0304 | LMS-0305 | LMS-0304 | LMS-0305 |
| 下枠左右 | LMS-0364 | LMS-0365 | LMS-0364 | LMS-0365 |
| 柱 | LMS-0413 | LMS-0413 | LMS-0414 | LMS-0414 |
| 間柱 | LMS-1404 | LMS-1404 | LMS-1407 | LMS-1407 |
| 屋根 | LMS-1455 | LMS-1457 | LMS-1456 | LMS-1458 |
| 扉 | LMS-1108 | LMS-1108 | LMS-1108 | LMS-1108 |
| 扉補強 | LMS-0563 | LMS-0563 | LMS-0563 | LMS-0563 |
| 一般型 | LMS-0564 | LMS-0564 | LMS-0564 | LMS-0564 |
| 特殊型 | LMS-3563 | LMS-3563 | LMS-3563 | LMS-3563 |
| 床 | LMS-0718 | LMS-0720 | LMS-0718 | LMS-0720 |
| | LMS-0718 | LMS-0722 | LMS-0718 | LMS-0722 |

●梱包内容表

| 機種 | 3618 (H)型/3622 (H)型 | 3618H (H)型/3622H (H)型 |
|-------|---------------------|-----------------------|
| ●上枠前後 | LMS-0208 | LMS-0208 |
| ●上枠左右 | LMS-0304 | LMS-0305 |
| ●下枠前後 | LMS-0258 | LMS-0258 |
| ●下枠左右 | LMS-0364 | LMS-0365 |
| ●柱 | LMS-0413 | LMS-0414 |
| ●間柱 | LMS-1404 | LMS-1407 |
| ●屋根 | LMS-1455 | LMS-1457 |
| ●扉 | LMS-1108 | LMS-1108 |
| ●扉補強 | LMS-0563 | LMS-0563 |
| ●床 | LMS-0718 | LMS-0720 |

○部材名称にはA3.0、A5.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
●は、扉の裏面に貼り付けてあります。

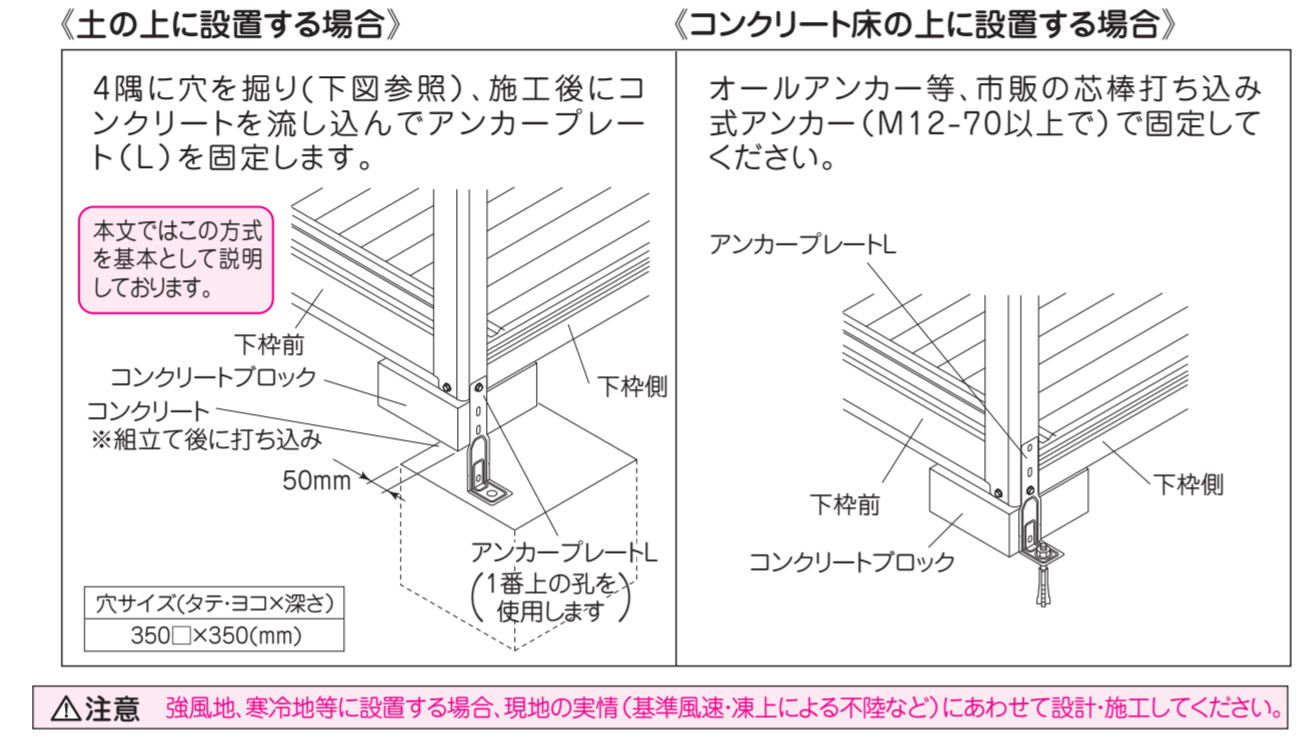
- ### ●施工にあたって
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
 - 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- ### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 20ヶ (幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

- ### ●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立

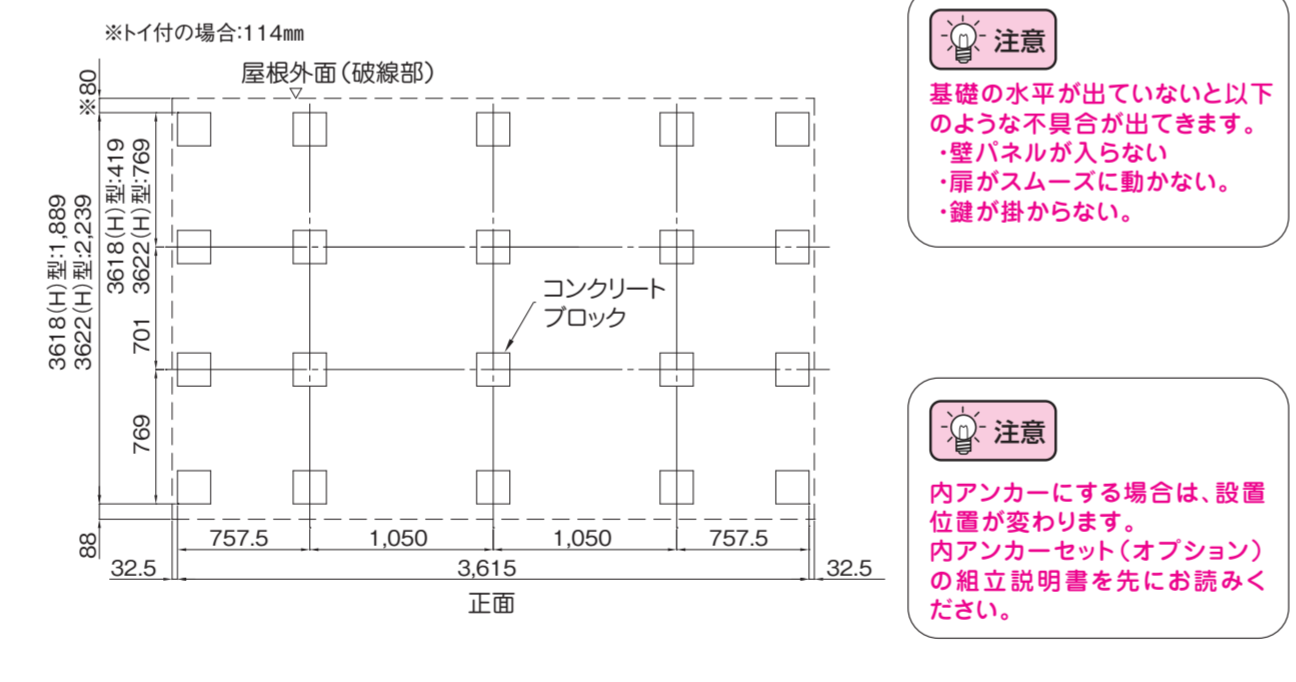
- ### ●使用ビス一覧
- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ボルト(白)※(扉の色と同色) M6×15 | ボルト(スプリングワッシャー付) M6×15 |
|--------------------------|---------------------------|
- ※扉の色が白の場合は入っていません。

- ### ●アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- △注意** 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

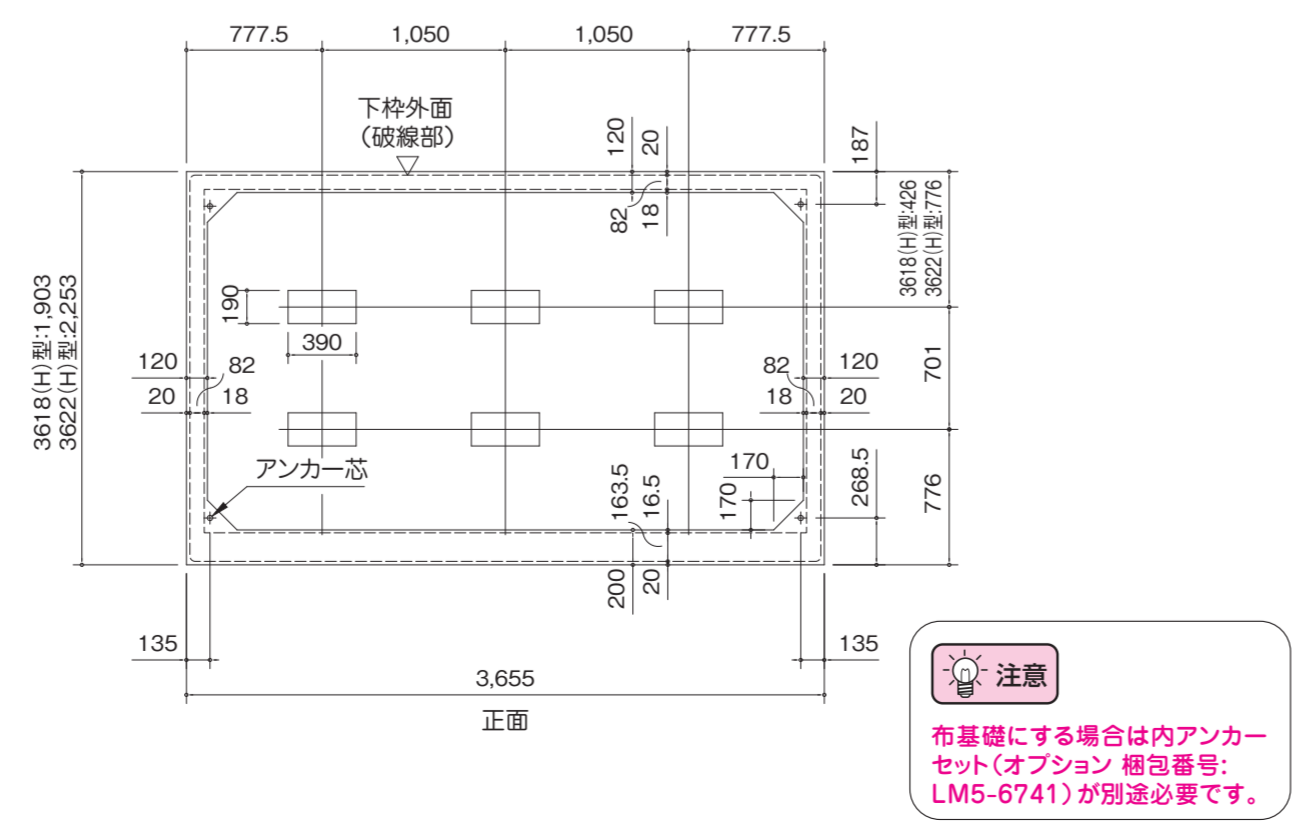


1 基礎施工

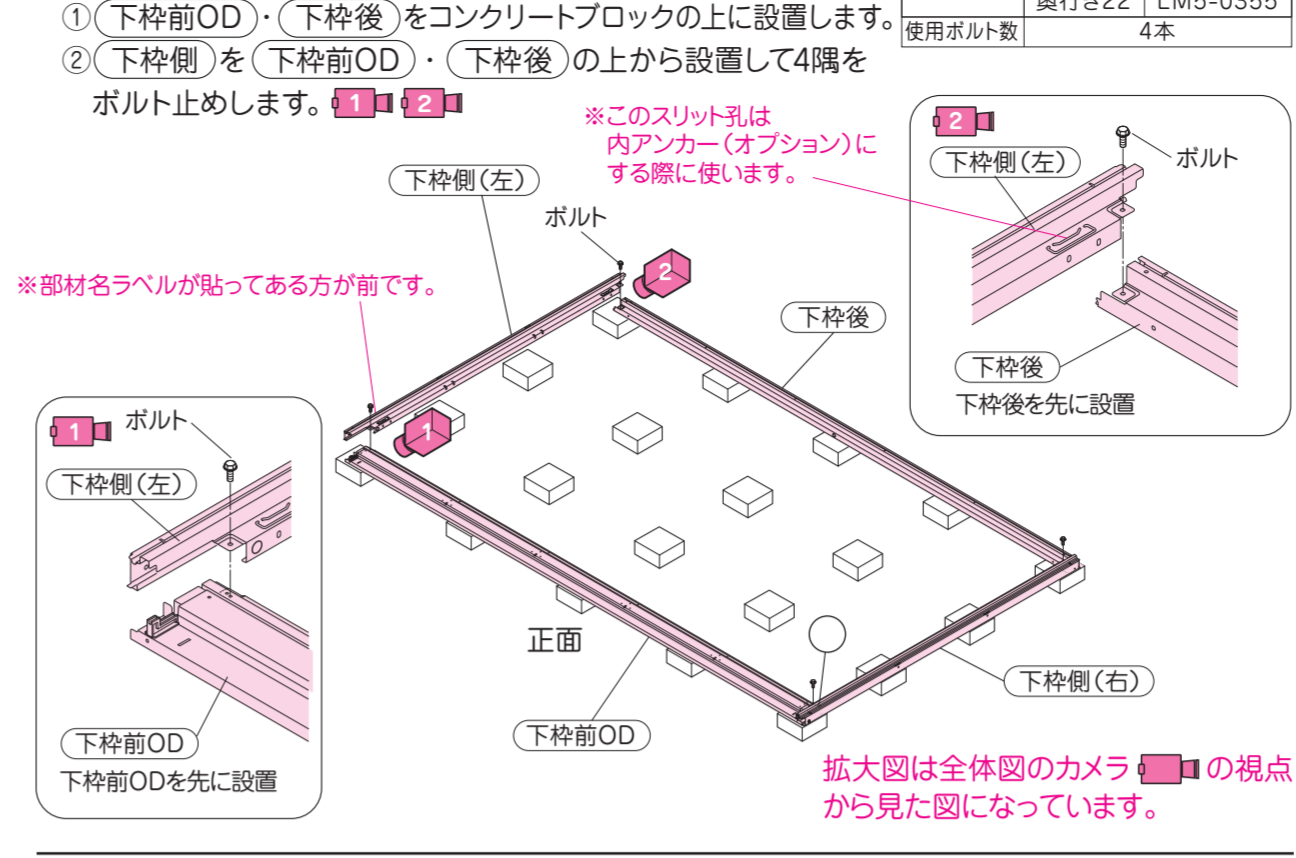
- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



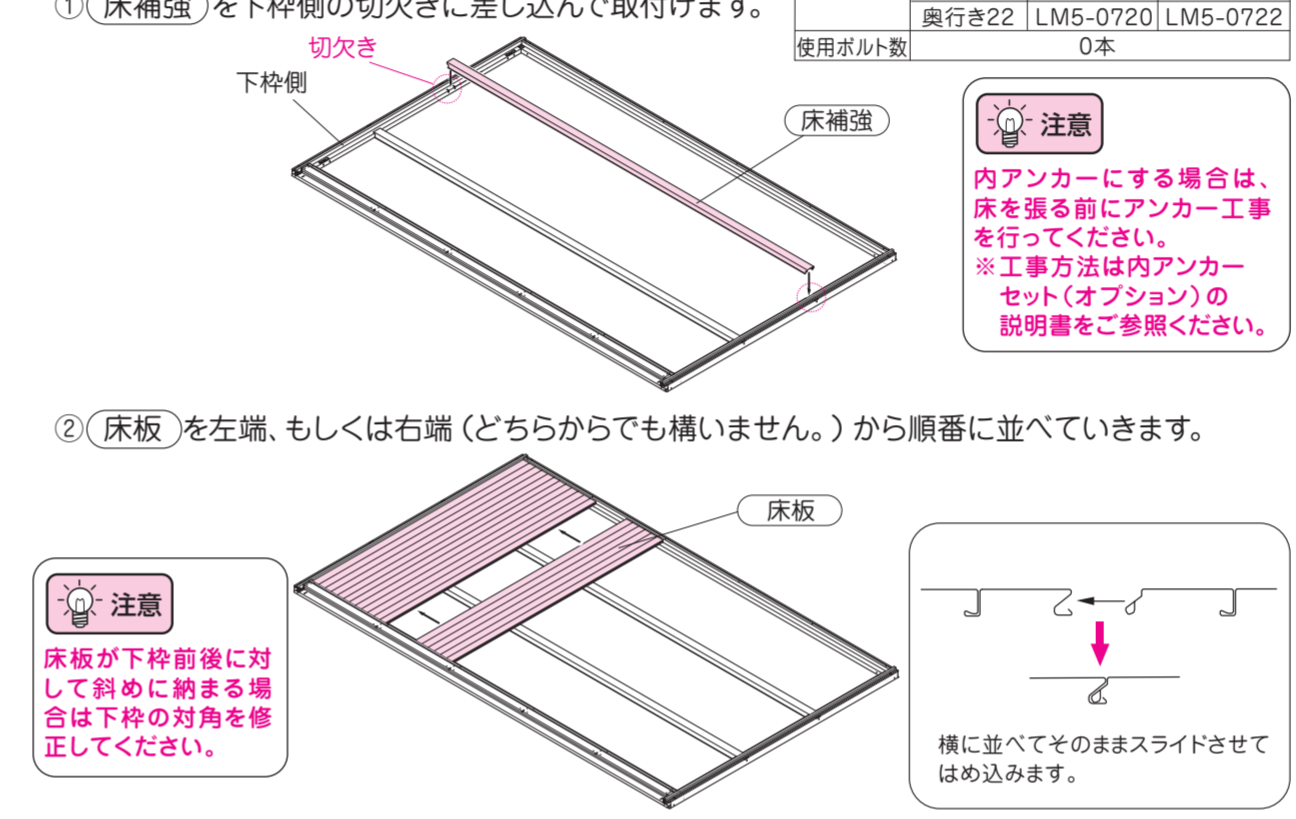
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



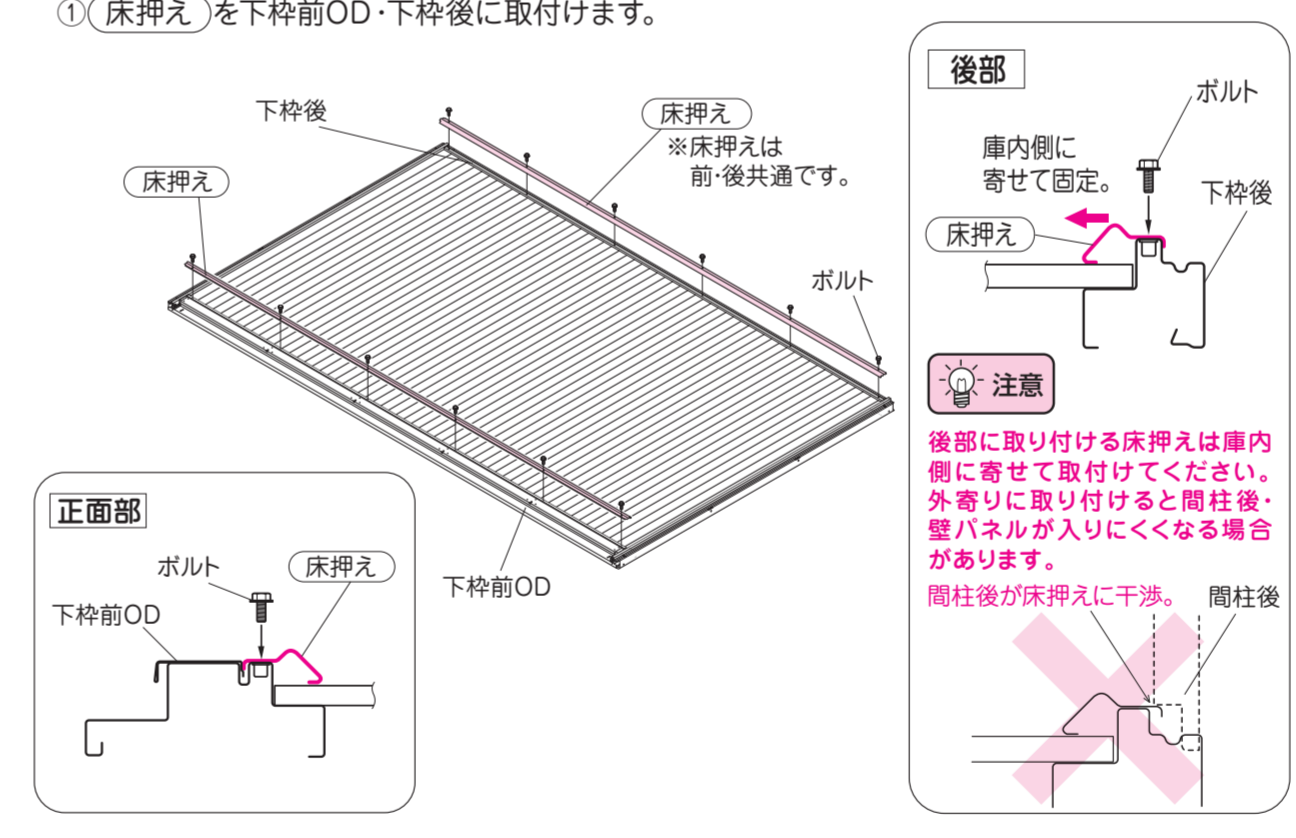
2 下枠の組立



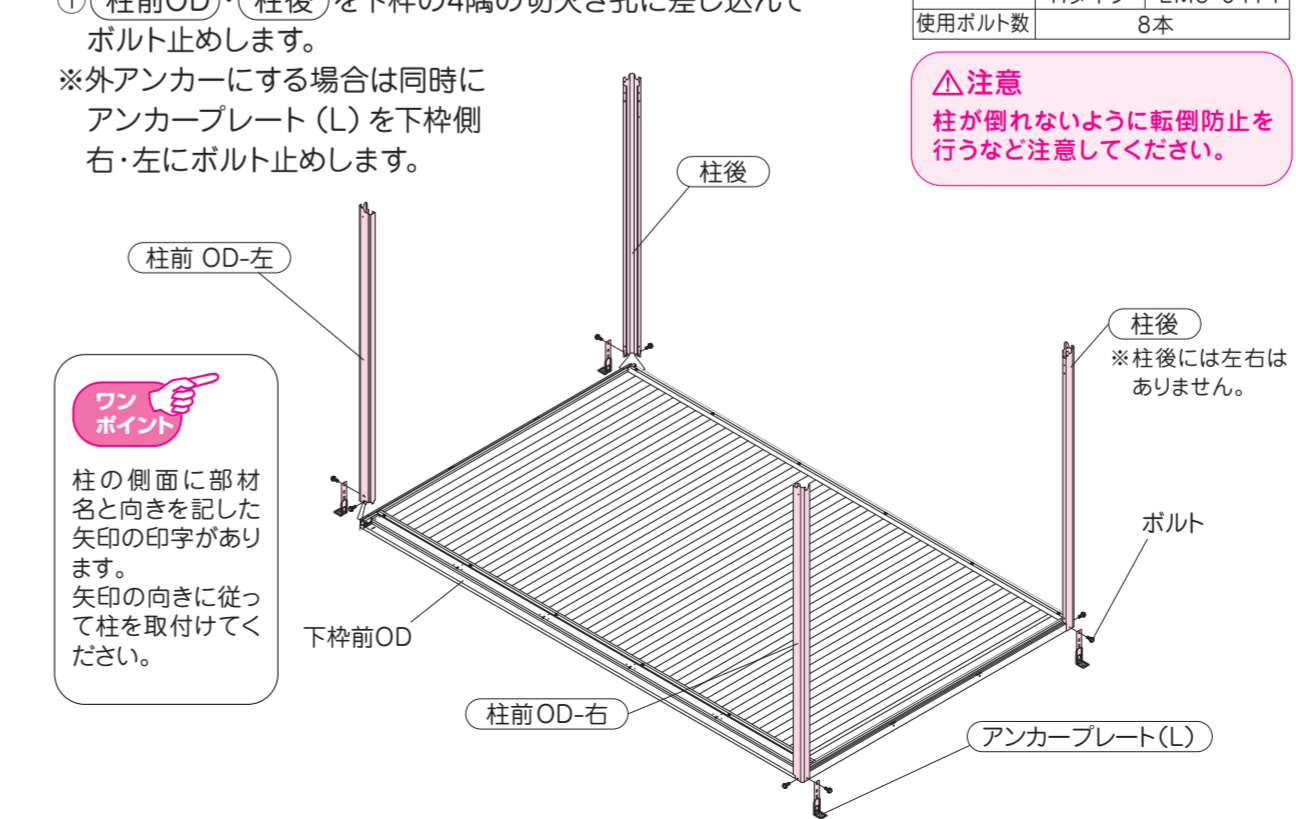
3 床の設置



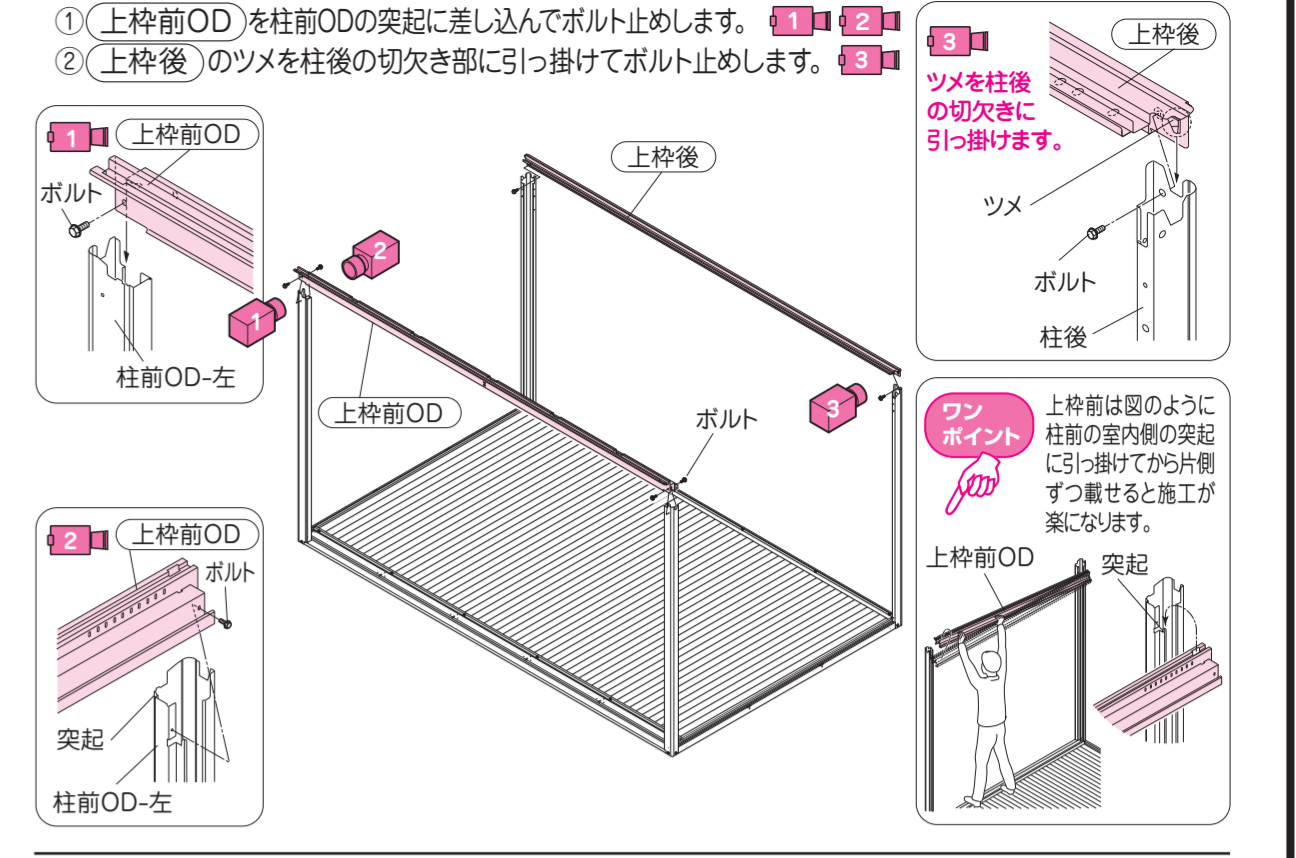
4 床押えの取付け



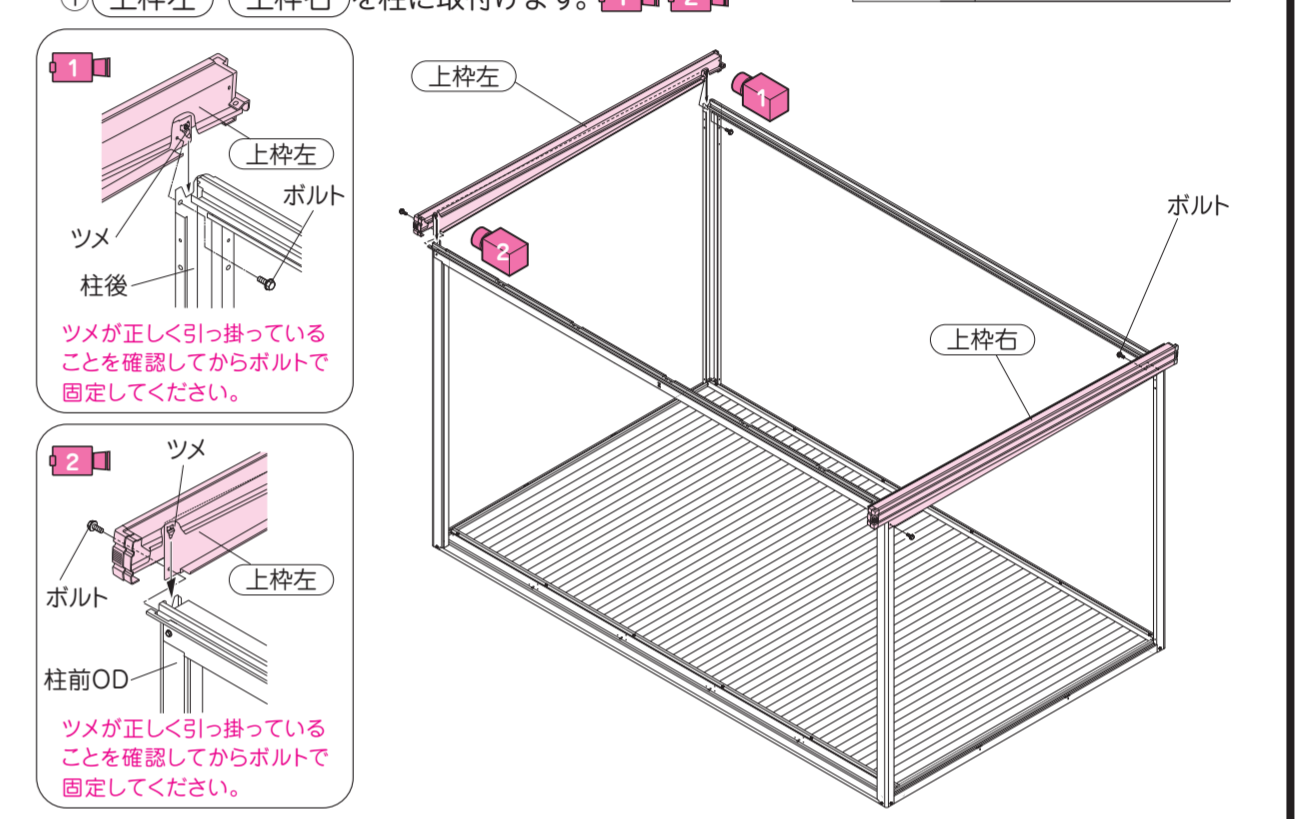
5 柱の取付け



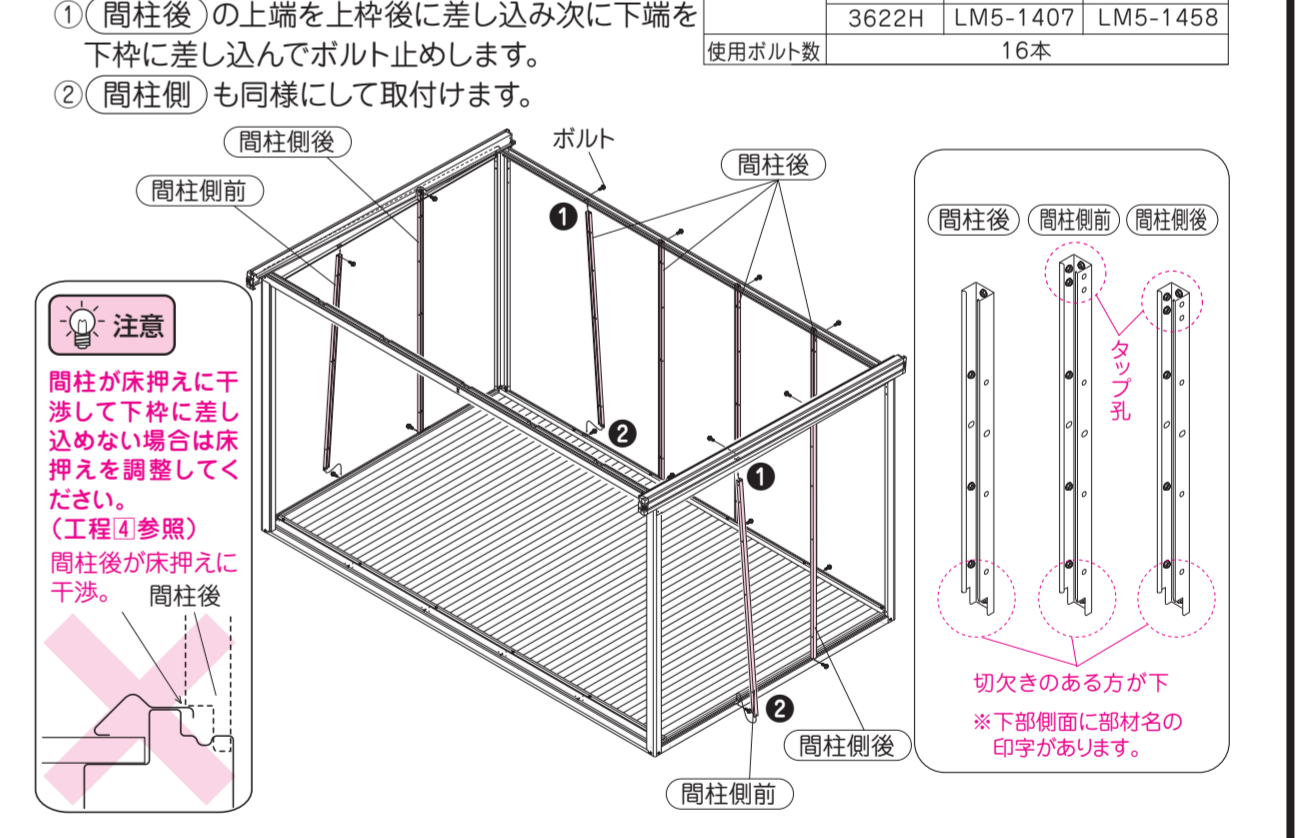
6 上枠前後の取付け



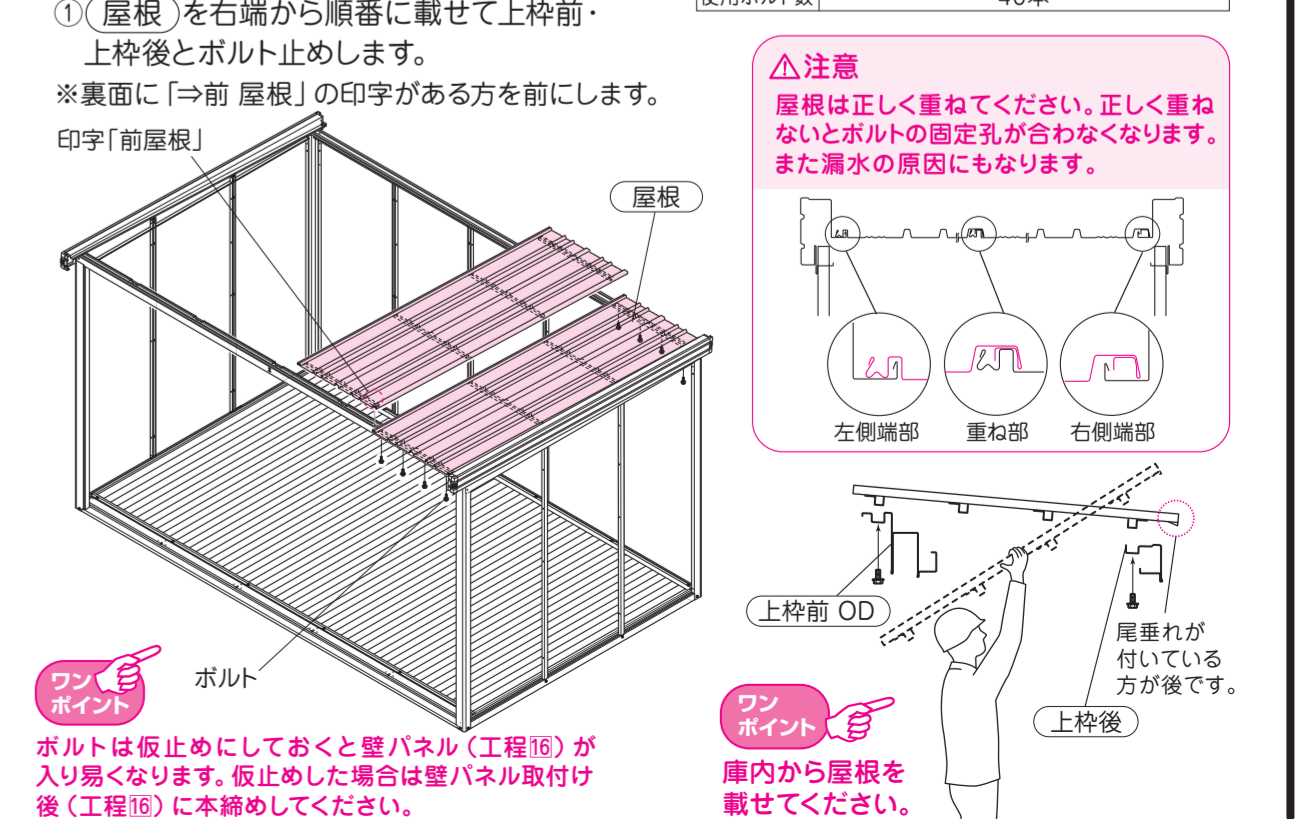
7 上枠左右の取付け



8 間柱側・後の取付け



9 屋根の取付け

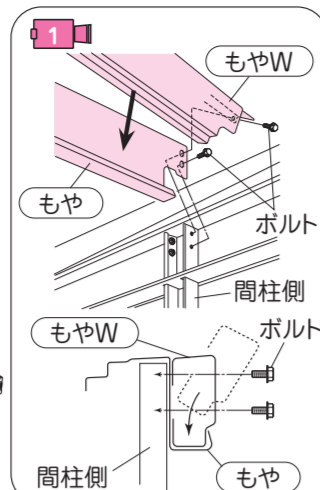


○部材名称にはA3.0、A5.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
●は、扉の裏面に貼り付けてあります。

10 もやの取付け

| | |
|--------|-----------------------|
| 使用梱包 | 一般型 LM5-0563 LM5-0564 |
| 積雪型 | LM5-3563 LM5-3564 |
| 使用ボルト数 | 48本 |

- ① もやを正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ② 正面からもやWをもやに落としこみボルト止めします。
- ③ もやと屋根をボルト止めします。



ワンポイント
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

注意
もやに前・後の区別はありません。

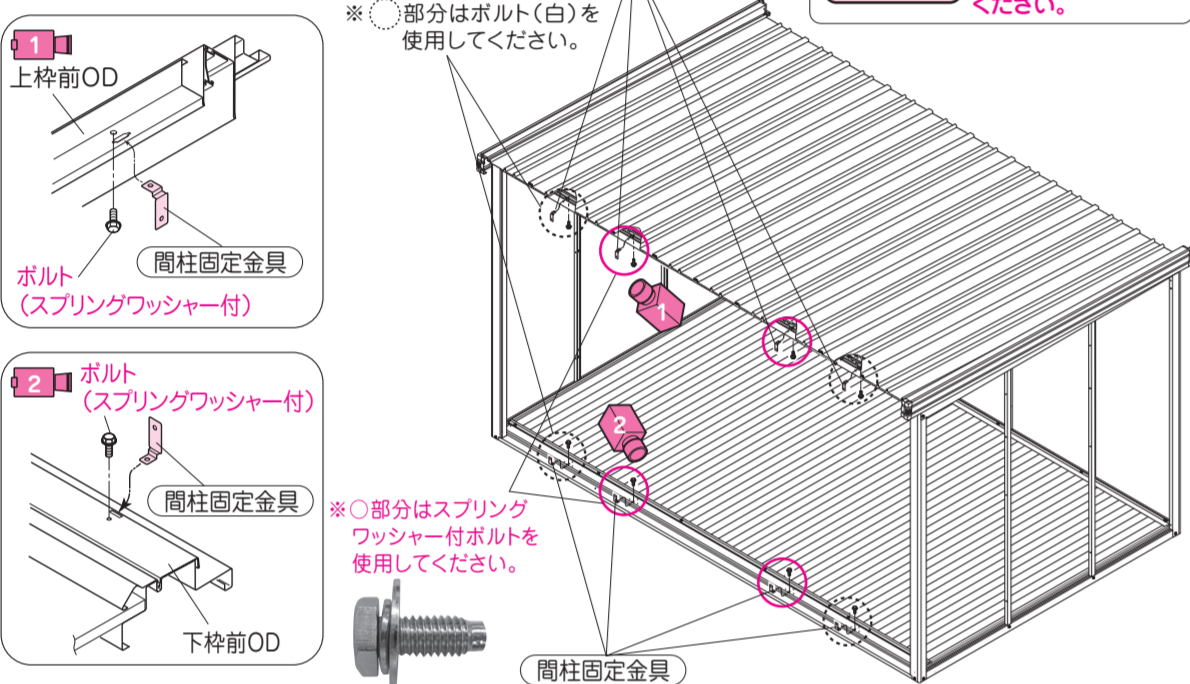
注意
(もやW)は2本共同し形状です。一番前には「一般型」「積雪型」のラベルが貼ってある(もやW)を取り付けてください。

11 間柱固定金具の取付け

| | |
|--------|--------------------------------|
| 使用梱包 | 共通 LM5-0173 |
| 使用ボルト数 | ボルト(スプリングワッシャー付)4本 ボルト(白)4本 |

- ① 間柱固定金具を上枠前、下枠前それぞれに差し込みボルト止めします。

注意
2種類のボルトを使用しますので注意してください。

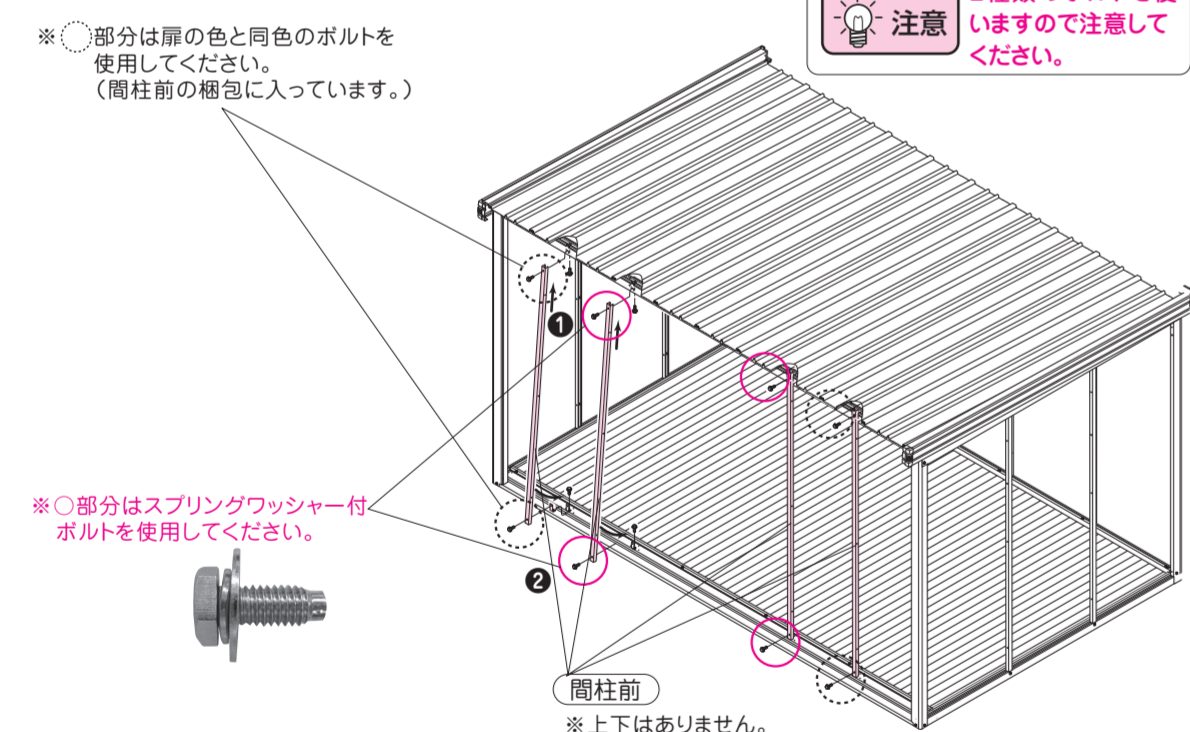


12 間柱前の取付け

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 使用梱包 | Lタイプ LM5-1404 |
| | Hタイプ LM5-1407 |
| 使用ボルト数 | ボルト(スプリングワッシャー付)4本 ボルト(扉の色と同色)4本 |

- ① 間柱前を間柱固定金具にボルト止めします。(上を先に入れて次に下を入れます。)

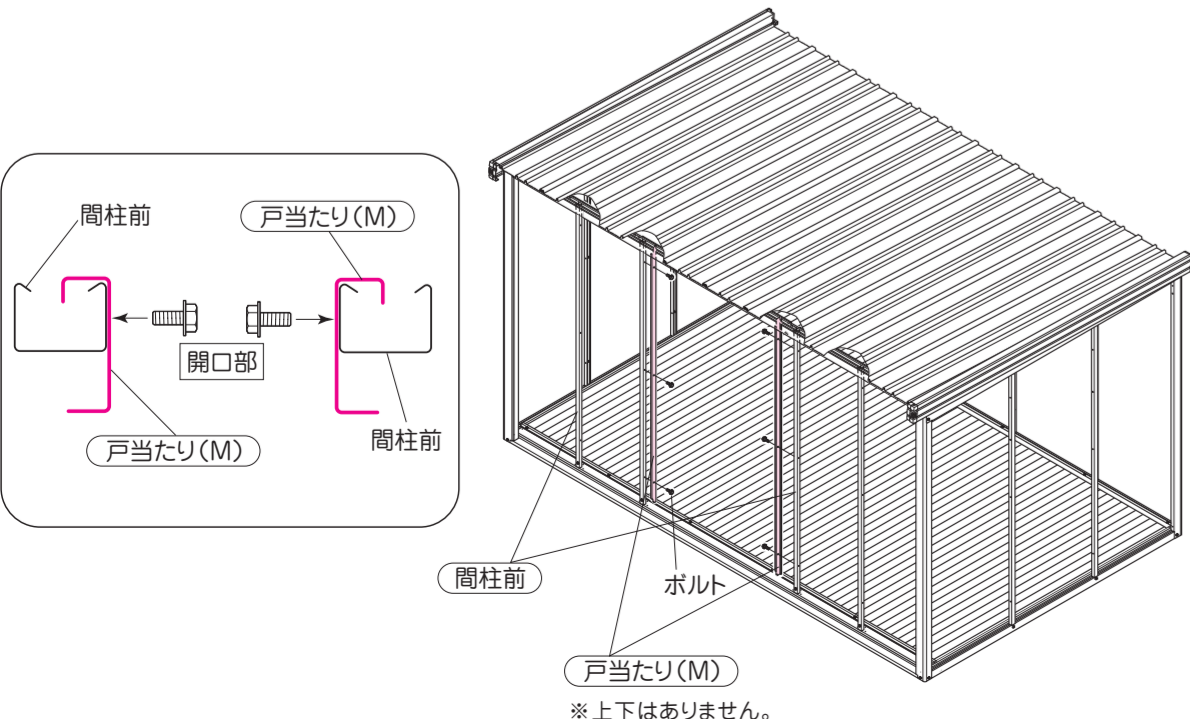
注意
2種類のボルトを使用しますので注意してください。



13 戸当たりの取付け

| | |
|--------|---------------|
| 使用梱包 | Lタイプ LM5-0413 |
| | Hタイプ LM5-0414 |
| 使用ボルト数 | 6本 |

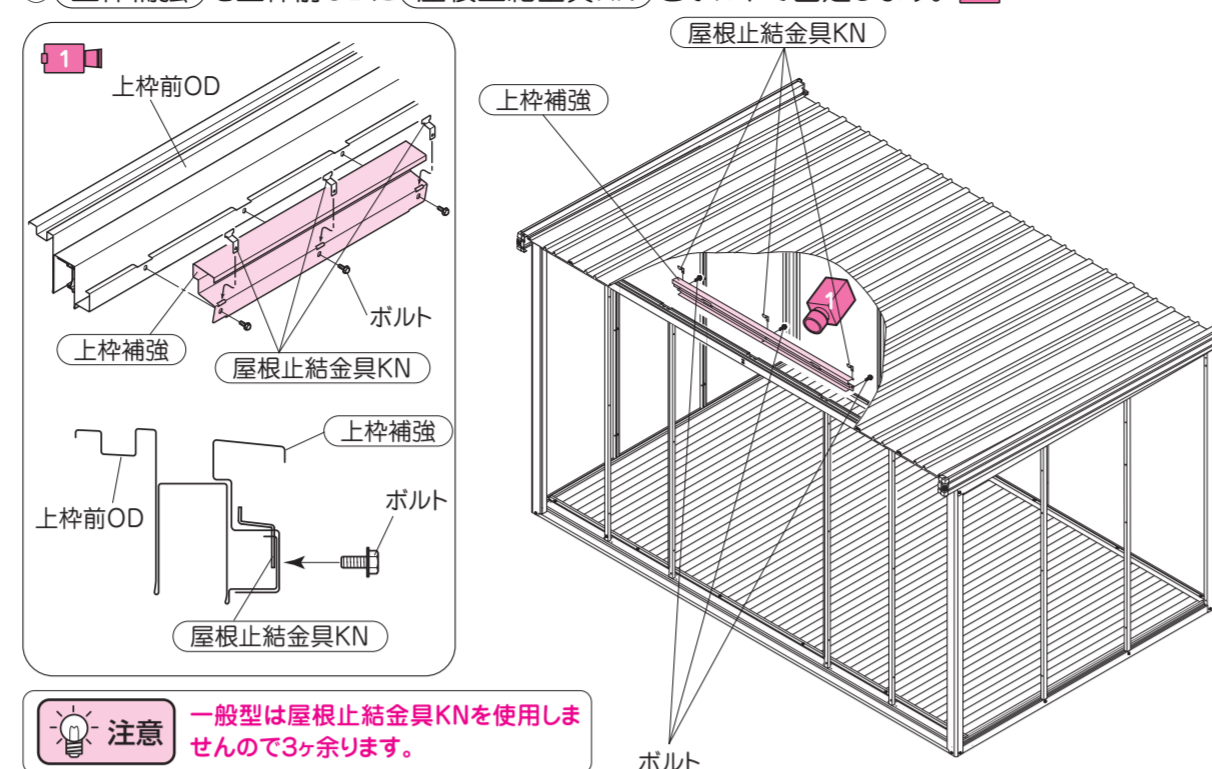
- ① 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。-工程10参照



14 上枠補強の取付け(積雪型のみ)

| | |
|--------|----------|
| 使用梱包 | LM5-0173 |
| 使用ボルト数 | 3本 |

- ① 上枠補強を上枠前ODに屋根止結金具KNとボルトで固定します。

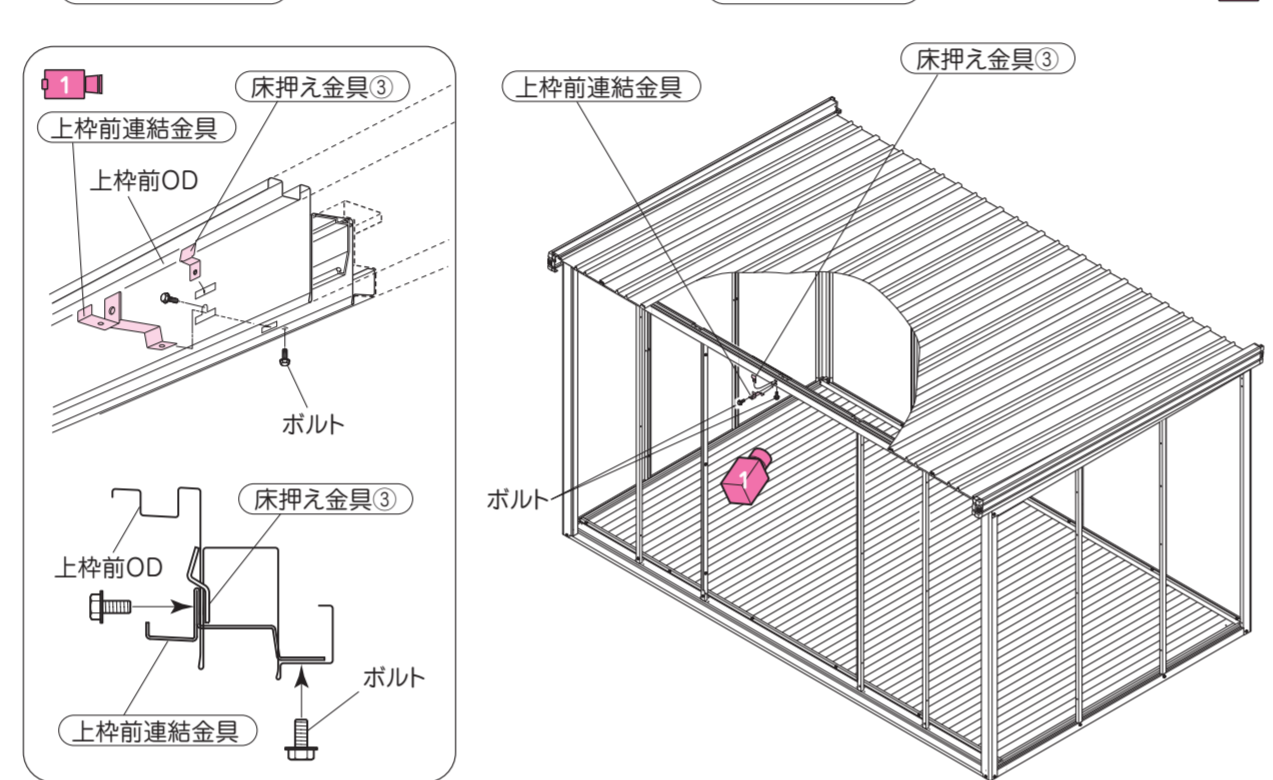


注意
一般型は屋根止結金具KNを使用しませんので3ヶ所あります。

15 上枠前連結金具の取付け

| | |
|--------|----------|
| 使用梱包 | LM5-0173 |
| 使用ボルト数 | 2本 |

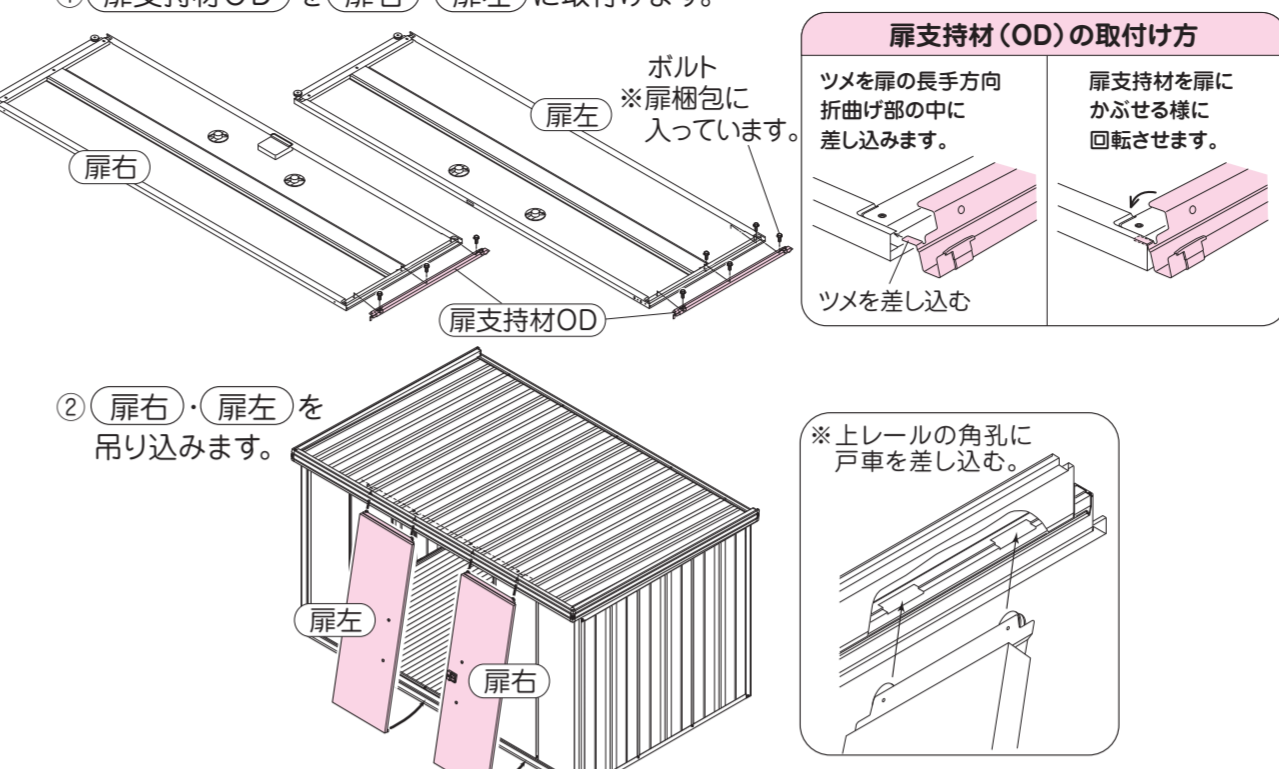
- ① 上枠前連結金具を上枠前ODの中央に差し込み、(床押え金具③)とボルトで固定します。



18 扉の吊り込み

| | |
|--------|------------------------------------|
| 注意 | 扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。 |
| 使用梱包 | Lタイプ LM5-1707 |
| | Hタイプ LM5-1717 |
| 使用ボルト数 | 6本 |

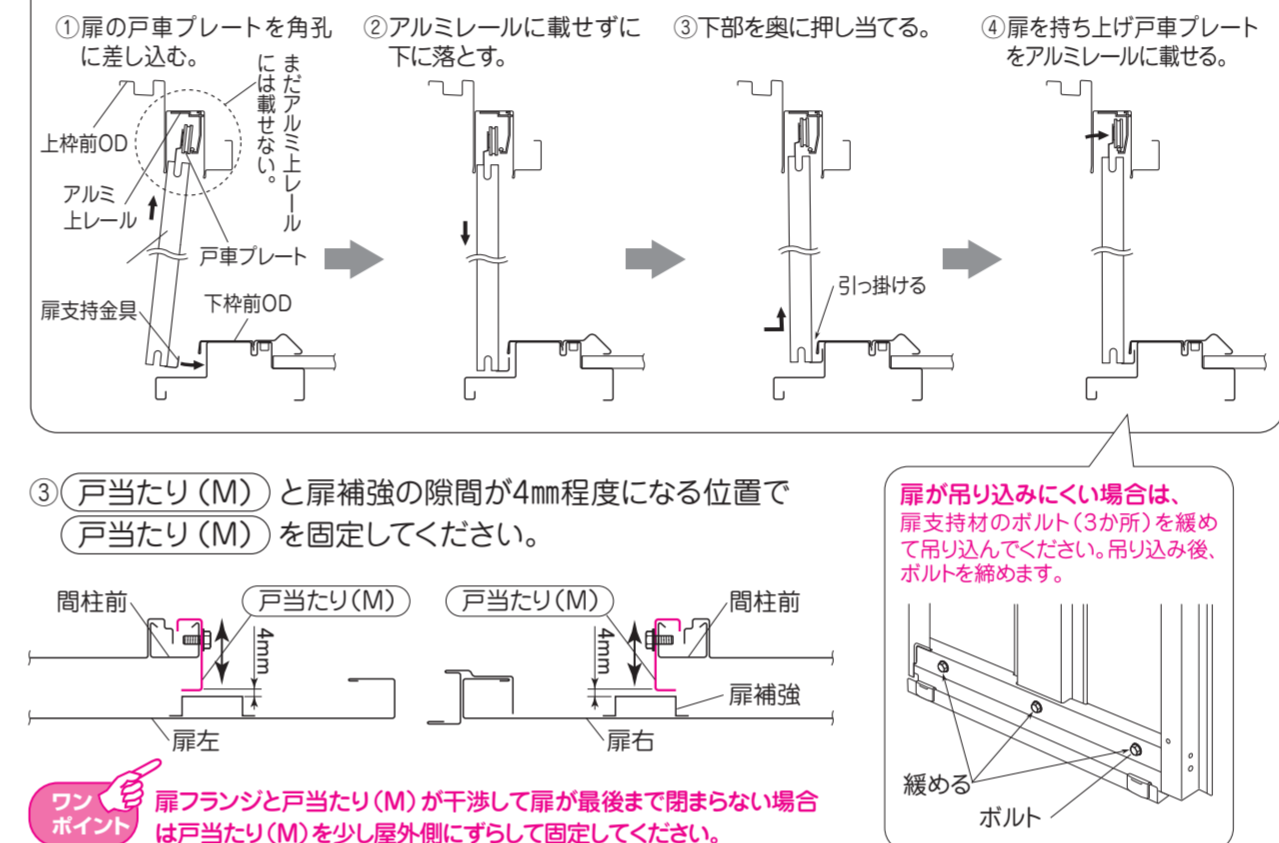
- ① 扉支持材ODを扉右・扉左に取付けます。



扉支持材(OD)の取付け方
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。
扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。
ツメを差し込む

※上レールの角孔に戸車を差し込む。

扉の吊り込み手順

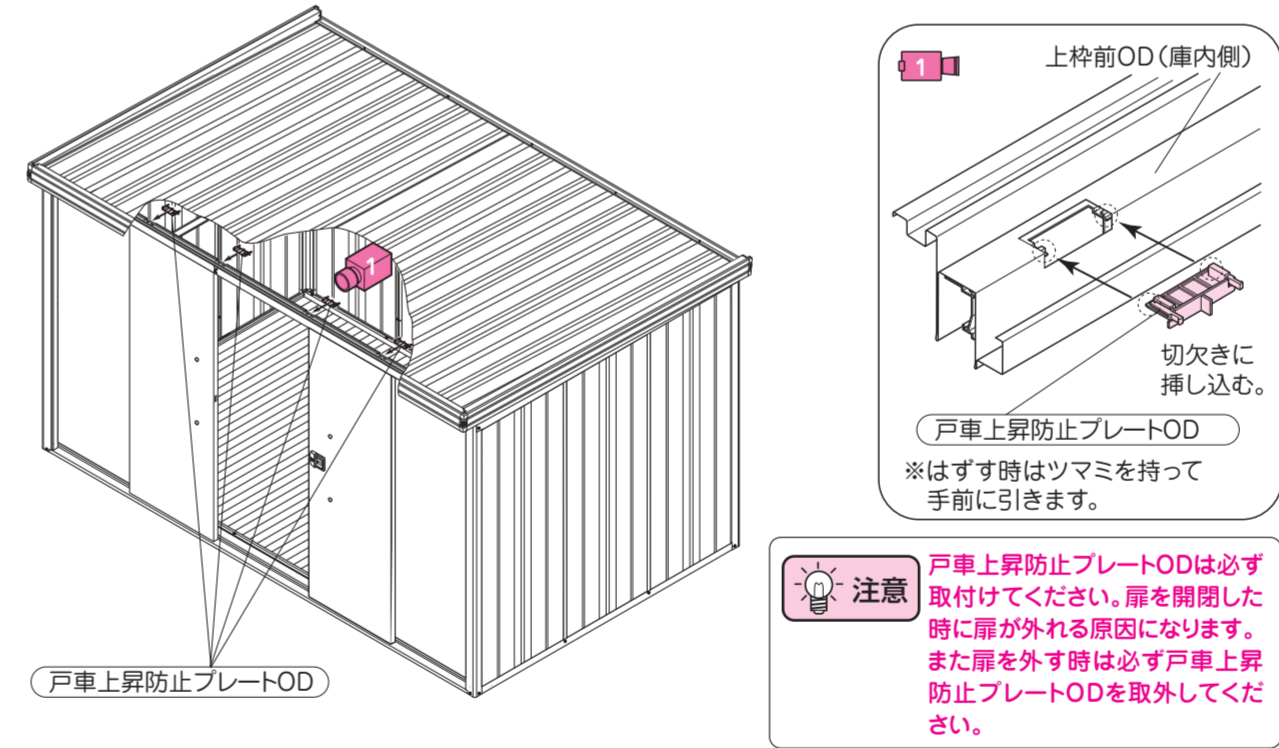


扉が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

19 戸車上昇防止プレートの取付け

| | |
|--------|---------------|
| 使用梱包 | Lタイプ LM5-1707 |
| | Hタイプ LM5-1717 |
| 使用ボルト数 | 0本 |

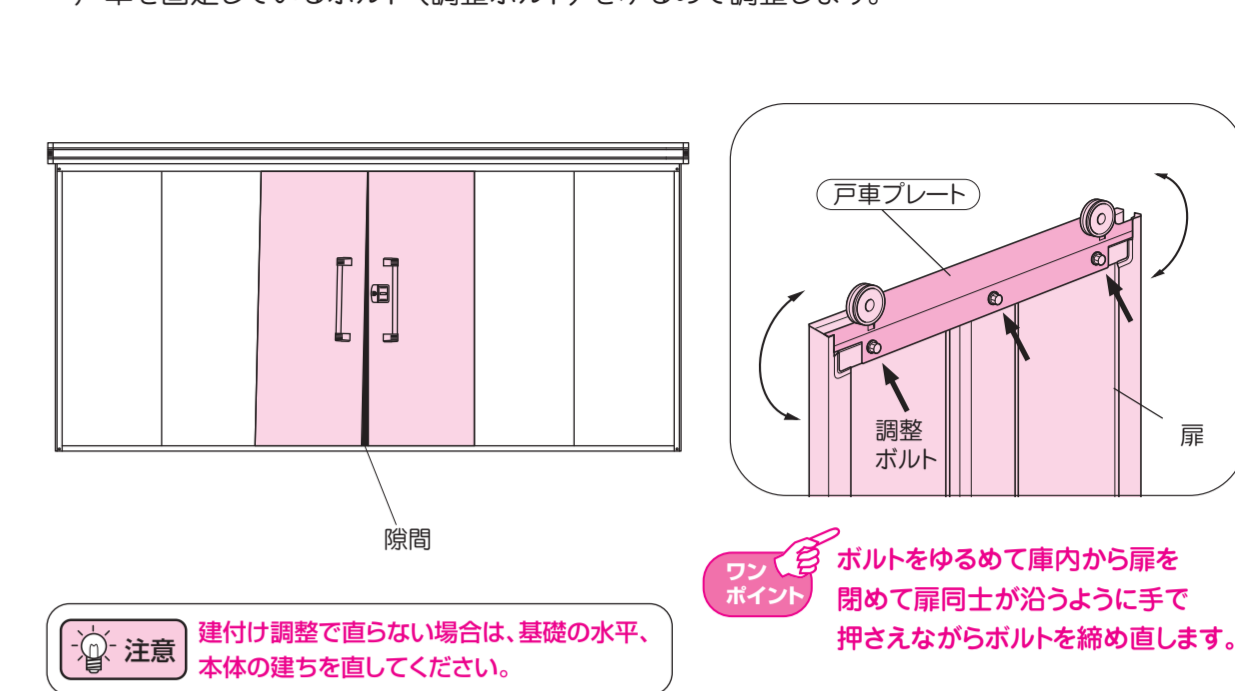
- ① 戸車上昇防止プレートODを上枠前ODに取付けます。(4か所)



注意
戸車上昇防止プレートODは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートODを取外してください。

21 扉の建付け調整

- ① 扉を開けて扉右と扉左の隙間を確認します。隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



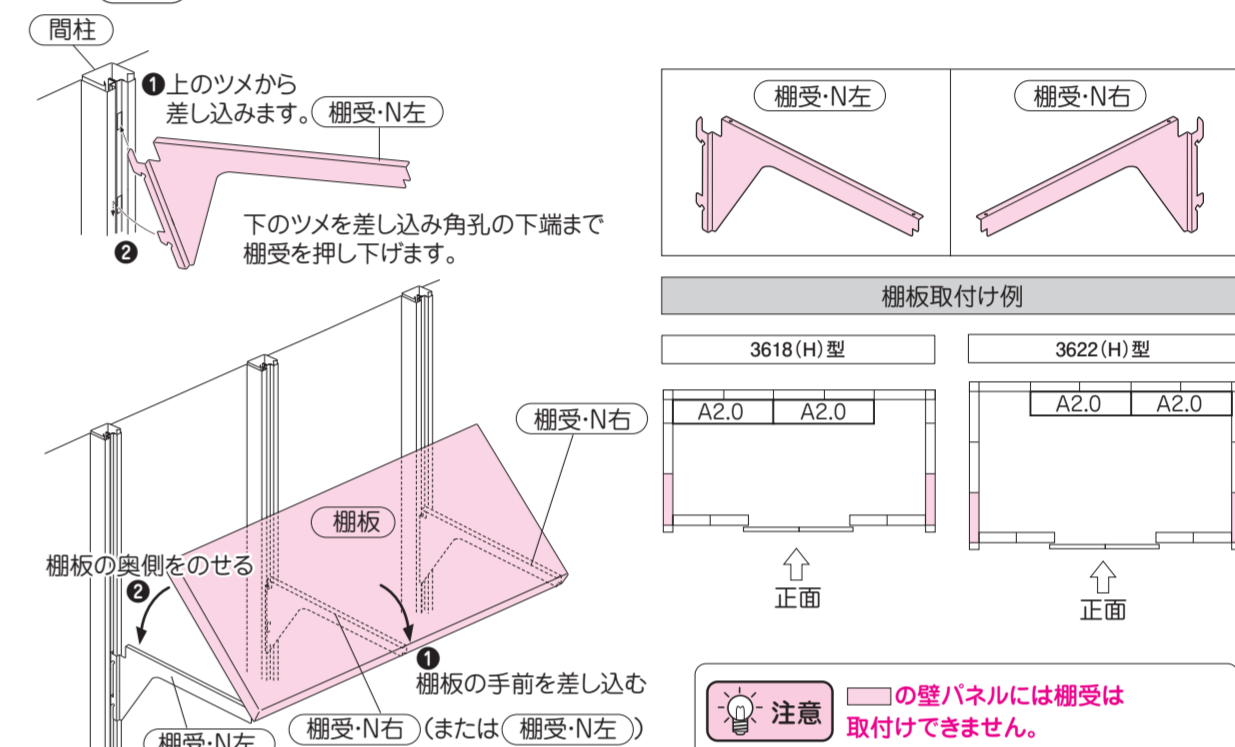
注意
建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

ワンポイント
ボルトをゆるめて扉内から扉を閉めて扉同士が沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

22 棚板の取付け

| | |
|--------|-------------|
| 使用梱包 | 共通 LM5-1903 |
| 使用ボルト数 | 0本 |

- ① 棚受を窓の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が4枚付いています。)

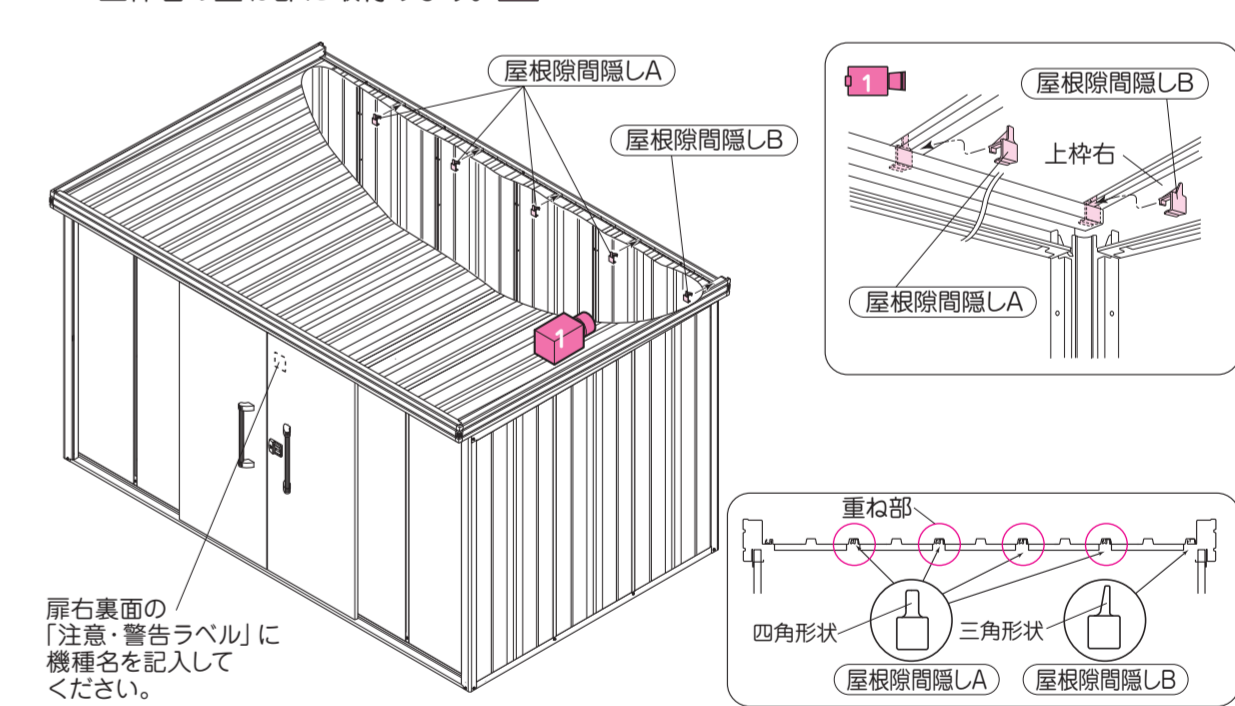


注意
壁パネルには棚受は取付けできません。

23 その他部品の取付け

| | |
|--------|-------------|
| 使用梱包 | 共通 LM5-0173 |
| 使用ボルト数 | 0本 |

- ① 扉表面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- ② (屋根隙間隔しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

| | |
|-------------------------------------|--|
| ① 扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>チェック欄</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> </div> |
| ② 鍵が正常に作動するかご確認ください。 | |
| ③ 戸車上昇防止プレートODが取りついているかご確認ください。 | |
| ④ 棚板の配置確認をしてください。 | |
| ⑤ 機種名が記入されたか確認してください。(扉表面の注意・警告ラベル) | |
| ⑥ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。 | |

こんな時は

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| ・扉が外れてしまった。 | 戸車上昇防止プレートODを外して扉を吊り込みなおしてください。(工程10) |
| ・取手が外れる。 | 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程20) |
| ・扉が最後まで閉まらない。 | 戸当たり(M)を調整してください。(工程10) |

お客様へ 組立説明書と取扱説明書を大切に保管してください。取扱説明書は大切な書類です。

施工業者の方へ 本書と取扱説明書を、必ずお客様にお渡しください。

(3618(H)・3622(H))

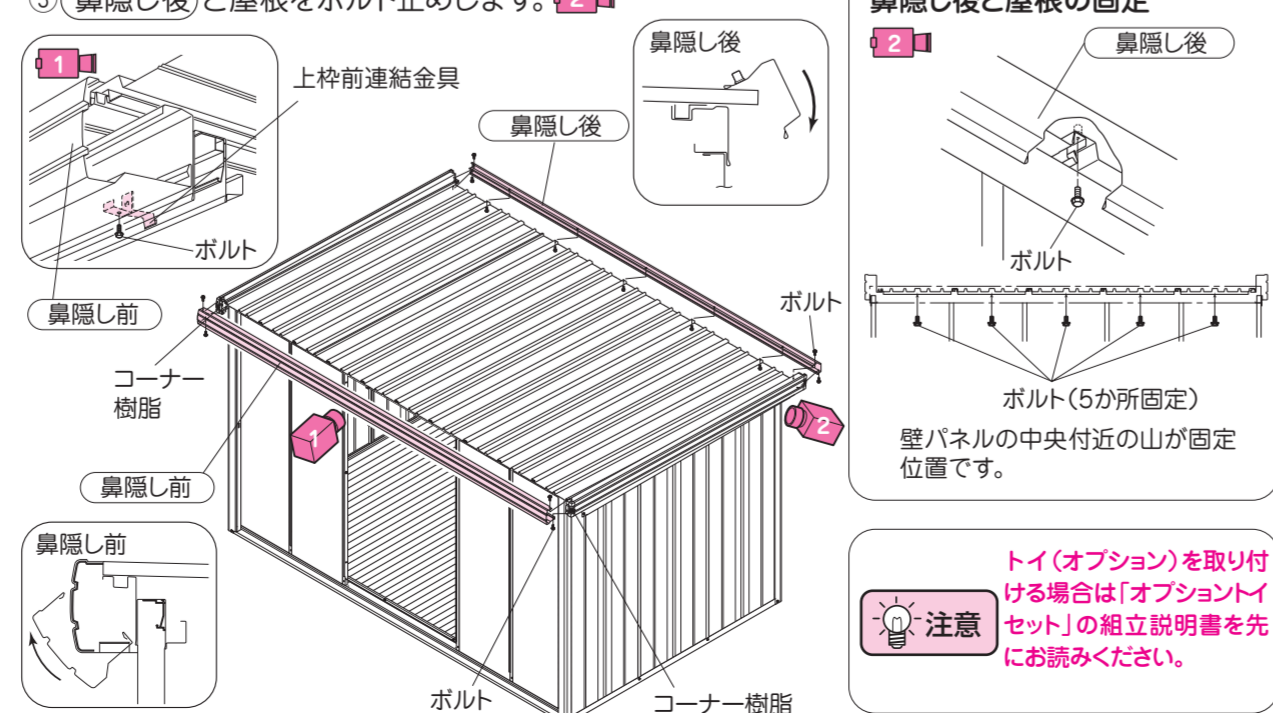
ヨドコウ

LMD-3618_KS_2025A

17 鼻隠しの取付け

| | |
|--------|-------------|
| 使用梱包 | 共通 LM5-1108 |
| 使用ボルト数 | 14本 |

- ① 鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② 鼻隠し前の中央を上枠前連結金具にボルト止めします。
- ③ 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。

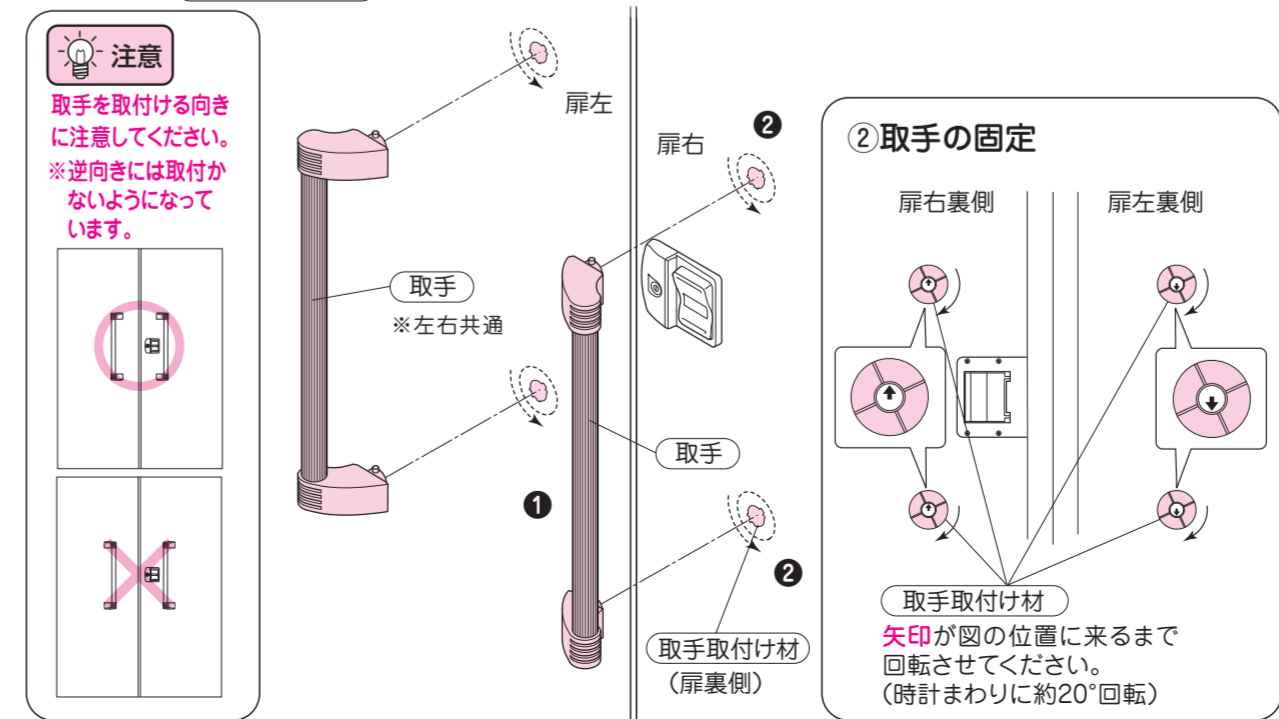


注意
トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションセット」の組立説明書を先にお読みください。

20 取手の取付け

| | |
|--------|---------------|
| 使用梱包 | Lタイプ LM5-1707 |
| | Hタイプ LM5-1717 |
| 使用ボルト数 | 0本 |

- ① (取手)を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- ② 扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



注意
取手を取付ける向きに注意してください。※逆向きには取付けられないようになってます。

取手の固定
取手取付け材
矢印が図の位置に来るまで回転させてください。(時計まわりに約20°回転)